



宮崎県立西都原考古博物館 令和5年度国際交流展

2023 [令和5年]

10.7<sup>SAT</sup><sub>[土]</sub> ▶ 12.10<sup>SUN</sup><sub>[日]</sub>

# 農耕への道

~九州・台湾における  
植物栽培のはじまり~

## 関連シンポジウム

「九州と台湾：農耕は狩猟採集・漁撈民の社会をどう変えたか？」※要申込

【日時】2023年11月11日（土）午後1時～午後4時半

【会場】西都原考古博物館 1階ホール

【講演・討論】野林厚志（国立民族学博物館） ユ・ペイリン（米国ボイシ州立大学）

李作婷（台湾国立自然科学博物館） イスタダ・アリーマン（総合研究大学院大学）

観覧  
無料

左上の背景画像：  
台湾の現生アワ  
（宜蘭縣政府文化局）

宮崎県立西都原考古博物館  
Saltobaru Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture

〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅5670番  
TEL.0983-41-0041 FAX.0983-41-0051  
<https://saito-muse.pref.miyazaki.jp>

開館時間：9:30～17:30（展示室入室は17:00まで）  
休館日：月曜日（国民の祝日と重なる時は最も近い平日）  
国民の祝日の翌日（休日に当たるときを除く）



# 農耕への道

~九州・台湾における  
植物栽培のはじまり~

日進月歩で成果が積み重ねられる稲作伝来をめぐる考古学。だが、南九州では稲作農耕の受容が社会にどのような変化をもたらしたのかについて必ずしもはっきりとしたイメージが描かれてこなかった。

この展示会では、イネをはじめとする穀物やマメ類を対象とした植物栽培の始まりを、九州と台湾を中心とするアジアの考古・民俗資料から探り、狩猟採集・漁撈社会から農耕社会への歴史的変化について考える。

## 稲と金属~先進文化への憧憬~

主な展示品

- 「石庖丁形鉄器」(現代/宮崎市櫛遺跡/県総合博物館)
- 炭化粃米(弥生時代/延岡市芝竹遺跡/延岡城・内藤記念博物館)
- 小児用壺棺(弥生時代中期/宮崎市石神遺跡/宮崎市教委)
- 木製農具・柄付き石斧(弥生時代中期/宮崎市中須遺跡/宮崎市教委)



櫛遺跡出土の甕棺他  
宮崎市(県総合博・当館)

## 南方の初期稲作~南九州と台湾~

主な展示品

- 突帯文土器(弥生時代早期/都城市坂元A遺跡/都城市教委)
- 弥生時代の馬歯・牛歯(弥生時代/大浜遺跡/五島市文化観光課)
- 木製農具(弥生時代前~中期/宮崎市垣下遺跡/宮崎市教委)
- ※ 台湾の資料は写真解説パネル中心の展示



肱穴遺跡・黒土遺跡の石器類  
都城市(都城市教委)

## 南九州稲作史の実態に迫る~実験考古学と民族・民俗誌~

主な展示品

- 大型石庖丁(弥生時代/県内各地/高鍋町教委他)
- 鉄製摘鎌・鎌(古墳時代/県内各地/当館)
- 貝製穂摘具(現代/五島市内/五島市文化観光課)
- 穂摘具(現代/ラオス・ベトナム・九州/川野和昭コレクション)



ラオス・ベトナムの  
穂摘具(川野和昭所蔵)

### 体験・実験講座

- 古代米を食す②「刈る」  
10月14日(土)
- 古代米を食す③「蒸す・炊く」  
11月12日(日)



昨年度のイネ刈り実験の様子



開館当時の西都原考古博物館

### 開館20周年イベント

「ポスターで振り返る  
考古博の歩み」

2024(令和6年)

1月20日(土)~3月31日(日)